

『スペースXで行く鬼怒川、日光、宇都宮の旅』（日光東照宮特別拝観ツアー）

令和6年10月28日（土）午後から10月29日（日）にかけて1.5日間の神奈川歯科大学平塚同窓会旅行が催行された。今回の旅行は、日常の診療になるべく影響の無い土曜日の午後から日曜日にかけての日と程とあったが、9月の3連休の翌週とこういうこともあった。参加者は12名と少数精鋭グループとなった。

旅行先が日光、鬼怒川方面なので全てバス移動では時間が掛かるといことで、JR在来線、東京メトロ、東武鉄道、観光バス、新幹線を利用した移動となった。

「目玉企画の1つとして、東武鉄道新型特急「スペーシアX」のプレミアマムシート車両を確保し、先頭車両の2両の軽食も提供された。この鬼怒川温泉で光降車駅の下に直行した。バスで宿泊先の鬼怒川温泉

ル	テ	ホ	星	つ	4	も	で	中	の	泉	温	川	怒	鬼	は	宿	の	こ	に
き	良	き	古	の	和	昭	で	館	旅	舗	老	る	い	て	し	ク	ン	ラ	観
を	し	な	て	も	お	の	風	今	と	気	囲	霽	の	館	旅	泉	温	光	感
か	窓	は	屋	部	た	れ	さ	内	案	め	た	き	で	が	と	こ	る	じ	ら
で	室	洋	和	の	た	平	4	7	る	し	望	に	下	眼	が	川	怒	鬼	2
。	た	っ	あ	で	し	広	の	味	気	ぎ	余	て	持	は	で	用	利	名	部
た	光	と	々	広	観	へ	呂	風	大	水	い	ナ	い	つ	息	一	場	屋	大
光	天	人	白	(	露	充	も	呂	風	か	、	し	ウ	サ	は	で	ル	浴	客
天		の	檜	)		の	が	た	っ	す	煩	を	少	が	プ	旅	で	グ	風
		本	。日	た	料	出	し	と	こ	同	癒	で	れ	疲	の	は	食	タ	
		、	れの	作	ほ	満	も	会	に	。ル	一	し	間	広	大	ス	一	コ	の
		二	の	さ	次	し	貸	腹	お		た	才	能	堪	を	分	気	い	酔

上明。画間一道現設さ中の五高一カ事と担秦一た。徳れ
りみた企のヤの築広る宮「のリスる内てつ舎（座祓田葵たなも光
盛飲っ玉座チ程こ建る降照り塔ツがい案いっあ厩体内さ
大で行目着め分。市き雨東ぐはイ造てでばてまで馬神案
や屋ての軍た。30着都で。小にく塔カ構れりええ相様神御に
え部けつ将の。30着都で。小にく塔カ構れりええ相様神御に
歌、更一（）に。初居」の五京柱用なとにさいな御殿
や者はうン食し所はにさに。初居」の五京柱用なとにさいな御殿
めく夜もラ昼に務物優明内た。石。この東心応つり社愛て名を本
飲行ののプの後社建は説案し「石。この東心応つり社愛て名を本
々に川回觀石を殿の名をのトのた高たテ新つ箱そを「眠り
共呂怒今拝懷館客り200れん一財けたますの。前で感猿、
輩風鬼、別葉旅宮作200れん一財けたますの。前で感猿、
後はの後特湯で照なでの女ス文化受せ、シ宮た以う近「三柱、
輩後々食宮とス東厚の觀巫が要明合634m免東話んだなつ「逆
先の其朝照禱バ光重も拝て一重説を634m免東話んだなつ「逆
。そ、は東祈た日のるでいアの高634m免東話んだなつ「逆
入。者日光御しで築よ殿づツ口」標じり江さ巫の者を明康
突りす翌日の一り建に客つ觀り塔と同ツら女の市の念陽家
へがかのでタの代計の拝入重さといか巫当野部邪「陽家

のい会のがど抜を
座祓田葵たなも光
着お戸のっり売威
軍るて井あ守商御
将よし天で御はの
「んとれきり家
いさ表ば付か辺川
な主代選手職の徳
き神のにい神こ、た
でに行割な。（けし
がめ一役かた介受觀
室た。るつし紹を拝
入のたすぼ納の）を
般行けをお奉産た内
一受納でを土っ殿
は々を奉下串おか本
で我禱串真玉の無つ
こで祈玉のに定はつ
こ」御が紋事限りじ
間と長御無のか感

き 肴、与間な 光たホ産へ い間バこるル ホもに海に産つ
で」三 授時き 日 っ谷土り と時。るすー 線 幹 東 事土あ
行会とラを2で ち渡金お通 後1たす店コ 幹 L R T 線 幹 東 無おで
通直酒グ）約 験 打み光の子 午もっ行入ル 新 幹 新 J R 員のの
は「神 葵 プ。 体。 を 滲 日 品 餃 の 処 か 直 く ア 、 の 北 した 全 いた
般の御、ッたはた 鼓に、産宮 日 何 なに 良 と て、 ム の 東 着 え、 ぱ い
一 後。 杯 ラ し で っ 舌 体 り 特 都 曜 は わ 駅 運 子 っ テ の 到 行 が っ 着
も 最 た 朱 ト 了 常 あ に 身 寄 光 宇 日 店 叶 宮 に 餃 買 ス 路 に に たい に
こ り れ、 ス 終 通 で 理 な ち 日 の で 子 は 都 店 の 。 を シ 帰 駅 ズ っ に 路
こ 戻 わ 札 守 事、 拝 料 か 立 や 地 ト 餃 店 宇 子 て た 産 通 終 野 一 あ 手 家
（ に 行 神 運 無 が 参 石 ら に ン 的 ッ な 入 で 餃 当 っ 土 交 最 上 ム は し に
下 殿 が 御 開 は た る 懐 清 駅 パ 目 ポ 名 の 案 で 目 あ お 新 。 に ス で 車 も
廊 客 義 （ 柱 観 っ あ 葉 の の の 終 ス 有 で 提 辺 お で 宮 た り も 旅 下 と
り での 品 逆 拝 あ の 湯 後 道 一 最 光、 この 周、 の 内 都 き お え い で と
渡 ） ） 念 門 別 は 益 光 拝 で り で 観 て こ ン 駅 て た 構 宇 で ど 換 短 駅 出
の ト い 記 明 特 で 利 日 参 中 カ ン 。 の っ で き 。 来 け 駅 は が 刻 り の 寄 い
横 一 ら、 陽、 程 御 は が 途 一 込 た 宮 あ ち ド た 出 付 宮 ら と 定 乗 半 最 思
殿 ル お し、 て 行 変 食 酒 路 べ い っ 都 も 待 イ し が り 都 か こ、 の 日 の の
本 い な 食 箸 れ の 大 昼 地 帰 ル 買 か 宇 事 上 ガ に と 有 宇 ム る 車 線 1 自 旅
な （ を 福 さ 弱 い の テ を 向 う 以 ス と こ に 一 見 乗 道 各 と た 。

（ 戸 田 記 ）